

第2回 辰野町地域公共交通会議 議事録

●概要

日 時：平成23年12月16日(金) 10:30-11:30

会 場：辰野町 めくもりの里 2階健康教育室

出席者：別紙

報告事項：(1)地域公共交通確保維持改善事業の交付決定について
(2)辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務の委託業者の決定について

協議事項：(1)辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務について
(2)町民アンケート調査(案)について

●質疑内容：

報告事項：(1)地域公共交通確保維持改善事業の交付決定について

(2)辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務の委託業者の決定について

- ・資料「経過報告」、資料1、資料2-1、2-2に沿って、辰野町事務局及び、委託業者(株)ソーシャル アーツ コンサルティング「以下、コンサル」)より説明
- ・質疑応答は、特になし

協議事項：(1)辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務について

- ・資料に沿って、コンサルより説明
- ・質疑応答は、特になし

協議事項：(2)町民アンケート調査(案)について

- ・資料に沿って、コンサルより説明
- ・質疑応答は、以下のとおり。

【質疑応答】

林 副会長
(副町長)

- ・ アンケート調査配付数は1,500となっているが、この内訳を教えてください。

コンサル

- ・ 無作為抽出や地区別の人口比でサンプリングをすると、地区によっては確保できる票数が少なくなり、分析ができなくなるため、地区ごとに最低確保数を決め、残りの票数を世帯数比率で各地区に配分する方法としたい。

| | |
|-------------------|---|
| 高木委員 (平出区長) | <ul style="list-style-type: none"> 移動先一覧の中に「42 吉田屋商店」が含まれているが、この商店はすでに閉店しているため削除していただきたい。 |
| 傍聴者 | <ul style="list-style-type: none"> 移動先一覧の中に、コンビニエンスストアも含めた方が良い。 |
| コンサル | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の中には、日常的な買物をコンビニエンスストアで行う人もいる。一覧に含める方向で検討したい。 |
| 末松委員 (辰野高校 校長) | <ul style="list-style-type: none"> アンケートの対象者に、高校生だけでなく、中学生も含めたらどうか |
| コンサル | <ul style="list-style-type: none"> 今回、対象者を高校生以上とした理由は、中学生は徒歩等で中学校に移動できているためである。事務局と調整して決めさせていただきたい。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 中学生は、自転車通学者や、一部スクールバスの運行も行っている。 |
| 林委員 (北大出区長) | <ul style="list-style-type: none"> 北大出では、JR で通学している中学生もいる。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> 1,500 のサンプル数に対して、中学生を含めしまうと、それ以外の層が圧迫されるので、高校生以上にしたい。別途中学生への調査をするなどして対応したい。事務局内で再度検討する。 |
| 林委員 (民生児童委員長) | <ul style="list-style-type: none"> 「23 グレイスフル辰野」は、2箇所ある。伊那富宮所と樋口に分けた方が良い。 |
| 傍聴者 | <ul style="list-style-type: none"> 郵便局、銀行、JA などの金融機関を入れた方が良い。 |
| コンサル | <ul style="list-style-type: none"> 金融機関は必要であるため、記載する方向で検討する。 |
| 林副会長 (副町長) | <ul style="list-style-type: none"> 調査項目について、デマンド運行に対する意見を聞きたい。 |

| | |
|--------------------------|---|
| コンサル | <ul style="list-style-type: none"> ● デマンド運行については、10pに大きめに紙面を割いた。一言でデマンド運行と言っても、様々なタイプがある。ここには、一般的な予約に応じて、ルートが変わるタイプのデマンド運行の説明を入れている。この設問で、様々な立場の方からのご意見を集める。 |
| 小澤委員 (老人クラブ女性 部理事) | <ul style="list-style-type: none"> ● 調査開始が1月6日からとなっているが、調査に先立って、回答方法の説明会は行うのか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ● 説明機会は予定していないが、町としてできるだけアンケートを実施している旨の情報発信をしていきたい。 ● 調査の内容は、通常、町が行っているアンケートと同様であるため、調査票から読みとっていただけると考えている。 |
| コンサル | <ul style="list-style-type: none"> ● 正確な分析をするには、50%程度の回収率が欲しい。回収率は高ければ高いほど良いので、地区代表の方などは、該当する町民にも呼びかけて欲しい。 |
| 林副会長 (副町長) | <ul style="list-style-type: none"> ● 機会があれば、説明をすることはできるか。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ● できるだけ、調査票から読み解いていただきたい。 |
| 矢島委員 (老人クラブ会 長) | <ul style="list-style-type: none"> ● 「デマンド運行」に関しては、はじめて聞く人も多いので、しっかり説明が必要である。 ● サンプル数は、1,500で、必要な回収数が返ってくるのか？ |
| コンサル | <ul style="list-style-type: none"> ● 今の説明を、よりわかりやすいものにしたい。 ● 1500サンプルで十分か、という質問については、おおよそ母数の10%程度回答があれば十分である。辰野町の総世帯が7,700世帯であるため、1,500配付のうち50%の回収で、全く問題ない量である。 |
| 事務局 | <ul style="list-style-type: none"> ● 調査はスピーディに行うために郵送による配付回収である。回収は、長3封筒に3つ折で入れていただく。 |

- このほかに意見があったら、12月22日まで事務局まで連絡いただきたい。

その他：

- ・事務局より、今後のスケジュール等を説明。
- ・次回協議会は1月下旬～2月上旬、調査等の中間報告が主な議題である。

以上

第2回 辰野町地域公共交通会議 会議次第

日時：平成23年12月16日（金）

午前10時30分

場所：ぬくもりの里2階健康教育室

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 経過報告 ・・・・・・・・別紙

4. 報告事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業の交付決定について ・・・・・・・・資料1

(2) 辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務の委託業者の決定について
・・・・・・・・資料2-1、2-2

5. 協議事項

(1) 辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務について ・・・・・・・・資料3

(2) 町民アンケート調査（案）について ・・・・・・・・資料4-1、4-2

6. その他

7. 閉会

経 過 報 告

第2回 辰野町地域公共交通会議

(開催日) 平成23年12月16日 (金)

| 期 日 | 内 容 |
|------------|---|
| 11月16日 (水) | <p>第1回辰野町地域公共交通会議</p> <p>(1) 辰野町地域公共交通会議設置要綱について</p> <p>(2) 副会長、監事の指名について</p> <p>(3) 町内の公共交通体系の再構築を進めるスキーム (枠組み) について</p> <p>(4) 平成23年度辰野町地域公共交通会議予算 (案) について</p> <p>(5) 町営バス川島線及び飯沼線の継続運行について</p> <p>(6) 地域公共交通確保維持改善事業について</p> <p>(7) 辰野町生活交通ネットワーク計画策定調査業務実施計画 (案) について</p> <p>(8) 調査業務委託業者の選定について</p> |
| 11月18日 (金) | 辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務プロポーザルを3社に依頼 |
| 12月 2日 (金) | 同業務に係る企画提案書を3社が提出 |
| 12月 5日 (月) | 辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務委託業者選定委員会開催 ・ (株) ソーシャルアーツコンサルティングを予定契約者として決定 |
| 12月 9日 (金) | 平成23年度地域公共交通確保維持改善事業 (地域公共交通調査事業) 交付申請 |
| 12月16日 (金) | // 交付決定 |
| // | 辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務契約 |
| // | <p>第2回辰野町地域公共交通会議</p> <p>1. 報告事項</p> <p>(1) 地域公共交通確保維持改善事業の交付決定について</p> <p>(2) 辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務の委託業者の決定について</p> <p>2. 協議事項</p> <p>(1) 辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務について</p> <p>(2) 町民アンケート調査 (案) について</p> |

国土交通大臣 殿

住 所 長野県上伊那郡辰野町中央1番地
氏名又は名称 辰野町地域公共交通会議
会 長 矢ヶ崎 克 彦 印

平成23年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業）交付申請書

平成23年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）金4,812,000円を
交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30年法律第179号）第5条の
規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

平成23年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(地域公共交通調査事業) 交付申請事業

補助対象事業者名 辰野町地域公共交通会議 (単位: 円)

| 補助対象事業の 名称及び内容 | 補助対象事業の着手 及び完了予定日 | 補助対象経費 | 補助金額 |
|---|--|-----------|-----------|
| <p>(名称) 地域公共交通調査事業</p> <p>(内容) 1. 町内公共交通の実態調査 2. 公共交通利用者等ニーズ把握調査 3. 地域内フィーダー系統確保維持計画の検討 4. 交通会議開催等事務費</p> | <p>着手予定日 交付決定日以降</p> <p>完了予定日 平成24年3月30日</p> | 4,812,000 | 4,812,000 |

(添付書類)

- (1) 地域公共交通調査事業の実施に関する計画
- (2) 補助対象経費に係る見積書
- (3) その他補助金の交付に関して参考となる書類

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

当町は伊那谷の北端に位置し、南部を除き三方を山に囲まれ、市街地は辰野駅から南にかけての山麓部に発達し、中山間地の谷筋に沿うように集落が点在しています。町の中央部を天竜川が南流し、横川川との合流部はYの字型に地形を3分しています。

公共交通としては、JR中央東線・飯田線、町が運営する廃止代替バス「川島線」「飯沼線」が地域住民の移動手段として利用されていますが、町全域を包括する公共交通はありません。

また、辰野駅から伊那市を結ぶ地域間交通であった民間バス路線は、利用率の低迷に伴い平成21年度末に廃止されました。

その他、町が運行する小中学生対象のスクールバス、保育園児対象の保育園バス、温泉利用施設利用者用バス、JR辰野基幹支所利用者のお買い物バスが運行されています。

近年の自家用自動車への依存の高まりや、中山間地域の人口の減少を背景に、公共交通利用者は年々減少してきています。一方で、高齢化の進行により、交通手段を持たない住民の生活の支えとなる地域公共交通を確保・維持していくことは、町の重要な施策のひとつでもあります。

さらに、辰野町は、平成24年秋に町立辰野総合病院を開院しますが、新病院を利用する方にとって利用しやすい公共交通を構築することも重要課題となっています。

2. 地域の公共交通の確保維持改善に係る計画の策定調査の必要性

地域公共交通は、単に人の移動手段としてだけでなく、人々の社会的、個人的活動の基盤となつて、人と人との絆を結ぶ大切な移動手段でもあります。

より良い公共交通サービスの提供は、生活しやすいまちや人が集まりやすいまち、高齢者や障がい者が外出しやすいまちの形成に寄与し、人々の交流や地域の活性化が促進されます。

このような観点に立つて、より良い地域公共交通体系を再構築するためには、町内の公共交通の実態把握、アンケート調査等による町民ニーズ・課題・需要等の把握を行い、町民にとってより利用しやすく、将来にわたり持続可能な地域交通のあり方を検討する必要があることから、地域内フィードバックシステム確保維持計画を策定するために必要な調査事業を実施するものです。

| 3. 調査の内容 | |
|---------------------------|---|
| 調査の名称 | 調査の内容 |
| 町内公共交通の実態調査 | 町の現況（位置・地勢、人口・世帯の状況、施設分布、道路現況等）を整理するとともに、公共交通の運行状況について町有バス委託事業者へのヒアリングや資料提供を受け、町内の公共交通を取り巻く実態について取りまとめる。 |
| 公共交通利用者等ニーズ把握調査 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民アンケート調査 ・ 公共交通利用者ヒアリング調査 ・ 関係機関へのヒアリング調査 ・ 地区懇談会 |
| 地域内フィーダー系統確保維持計画の作成に向けた検討 | 町内公共交通の実態調査、公共交通利用者等ニーズ把握調査の結果に基づき、需要分析と収支分析を行い、地域内フィーダー系統の確保維持にかかる計画を作成するための検討を行う。 |

| 4. スケジュール | | | | |
|---|-------|----|----|----|
| 以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（———）で記載。 | | | | |
| 調査の名称 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 1. 町内公共交通の実態調査 | ————— | | | |
| 2. 公共交通利用者等ニーズ把握調査 | ————— | | | |
| 3. 地域内フィーダー系統確保維持計画の作成に向けた検討 | ————— | | | |

資料 1

| 5. 予算計画 | | | |
|------------------------------|---------------|-------------|----------------|
| 調査の名称 | 総事業費 (見込み) | 国費 (見込み) | 地域の負担 (見込み) |
| 1. 町内公共交通の実態調査 | 530千円 | 530千円 | 0千円 |
| 2. 公共交通利用者等ニーズ把握調査 | 1,680千円 | 1,680千円 | 0千円 |
| 3. 地域内フィーダー系統確保維持計画の作成に向けた検討 | 1,790千円 | 1,790千円 | 0千円 |
| 4. 交通会議開催等事務費 | 854千円 | 812千円 | 0千円 |
| 小計 | 4,812千円 | 4,812千円 | 0千円 |

辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務の委託業者の決定について

1. 委託業者

株式会社 ソーシャルアーツコンサルティング
 松本市中央2丁目3番17号 知新堂ビル3階-B

2. 契約期間

平成23年12月16日（契約日）から平成24年3月26日（月）

3. 契約金額

3,948,000円（予算額 4,000,000円）

4. 選定経過

辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務委託業者選定委員会において、「辰野町生活交通ネットワーク計画策定支援業務委託実施要綱にもとづき選定

| 実施項目 | 期 日 | 内 容 |
|----------|----------------|---|
| 第1回交通会議 | 平成23年11月16日（水） | 業務委託について指名業者3社を承認 |
| 企画提案提出依頼 | 平成23年11月18日（金） | |
| 企画提案書の提出 | 平成23年12月 2日（金） | 3社から提出 |
| 選定委員会 | 平成23年12月 5日（月） | 3社にて企画提案のプレゼンテーションを実施し、評価点数の最も高い業者を契約予定者に選定 |
| 選定結果通知 | 平成23年12月 9日（金） | |
| 契約締結 | 平成23年12月16日（金） | |

1. 商号 株式会社 ソーシャル アーツ コンサルティング

2. 本店 〒390-0811

松本市中央2丁目3-17 知新堂ビル3階 B

電話：0263-36-8580 FAX：0263-36-9185

3. 事業内容

計画策定、各種調査、コンサルティング業務

- ・社会経済調査、市場調査(マーケティング)
- ・交通政策全般(公共交通支援、交通円滑化対策、歩行者・自転車支援)
- ・PFI事業関連調査
- ・都市計画関連調査、マスタープラン策定など

4. 資本金 1,700万円

5. 売上 約1億2,000万円(平成22年)

6. 従業員数 15名(パート・アルバイト含む)

うち技術系職員 10名

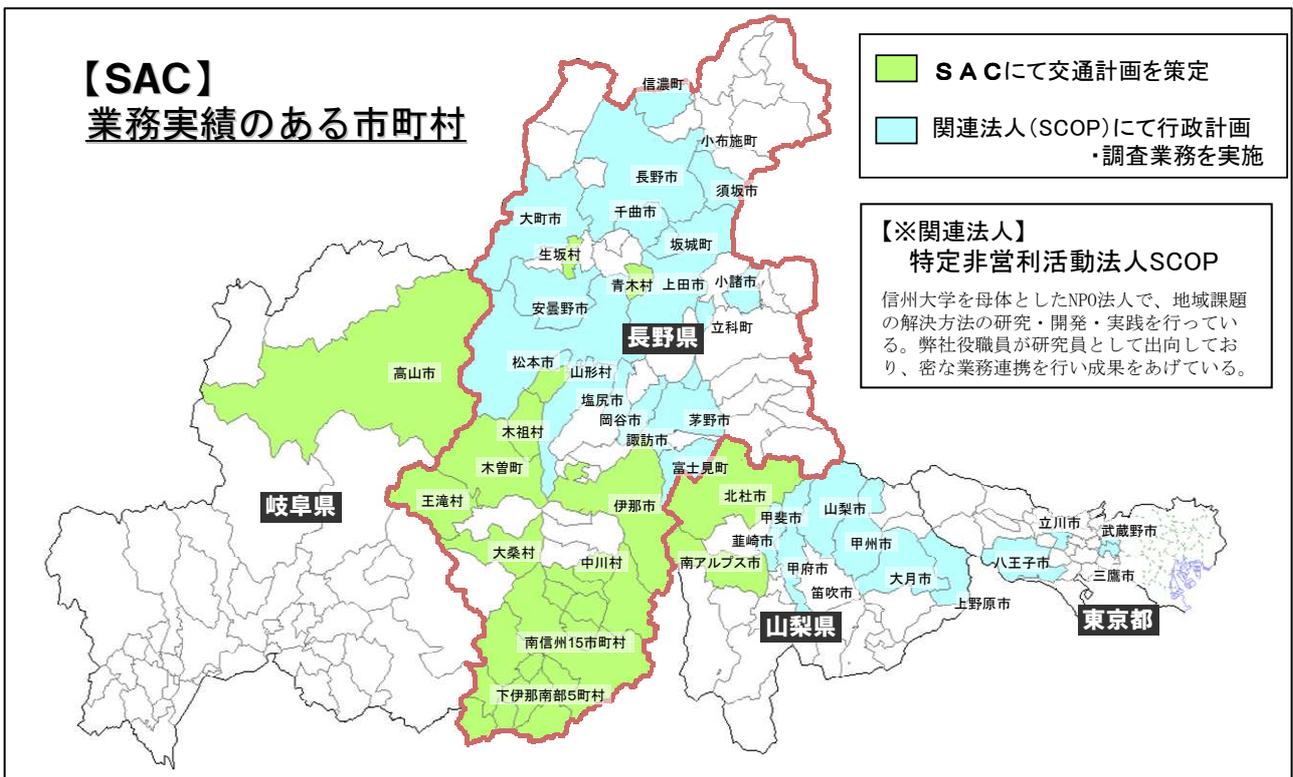
7. 沿革

| | |
|----------|--|
| 平成14年2月 | 株式会社PFI研究所として資本金1,000万円にて設立 |
| 平成14年12月 | 資本金を1,500万円に増資、役職員を増員 |
| 平成20年4月 | 株式会社地域総合研究所に社名変更 |
| 平成21年5月 | 株式会社ソーシャルアーツコンサルティングを関連法人(※)と共同出資により設立 |
| 平成21年8月 | ソーシャルアーツコンサルティングの資本金を1,700万円に増資 |
| 平成21年12月 | 地域総合研究所を吸収合併し、同社の事業内容を引き継ぐ |

8. 主要実績(交通関連)

- ・H16中川村 NPO法人による自家用車有償運送事業(全国初認定)
- ・H17木曾町 4町村合併に伴う町営バス再編事業(H21 国交省活性化再生事業 優秀賞次点)
- ・H19伊那市 3市町村合併に伴う公共交通再編計画(プロポーザル特定=ごんべえ号運行など)
- ・H20南信州広域連合 15市町村連携による交通システムの構築(プロポーザル特定)
- ・H21高山市 地域公共交通総合連携計画策定(プロポーザル特定=計画範囲全国最大規模)

【以上 平成23年11月30日現在】



辰野町生活交通ネットワーク計画策定について

本事業では、辰野町にとって必要な公共交通のあり方を明確化した上で、町民の暮らしに本当に役に立つ公共交通体系を構築していきます。そのために、まずは辰野町の地域現況、住民の公共交通に対する意識、移動実態等を詳細に調査します。各種調査によって得られた結果をもとに公共交通のあり方と公共交通体系の検討を行い、その内容を辰野町生活交通ネットワーク計画にまとめていきます。

生活交通ネットワーク計画策定の全体進行



住民の移動実態・公共交通に対するアンケート調査について

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、辰野町における住民の移動実態（移動先及び移動量など）、公共交通に対する意識を把握することを目的とする。この結果を活用して、公共交通の整備方針、運行計画等を検討し、「生活交通ネットワーク計画」を策定していくものである。

(2) 調査方法の概要

①調査対象；世帯単位で1,500世帯（全世帯の約19%）に配布。

高校生以上を対象とし、1世帯から4人まで回答できるようにする。

各地区において一定数の回答が得られるようにするため、最低確保数を設定し、残りのサンプル数は各地区の世帯比率に準じて抽出する。

②調査方法；郵送配布、郵送回収により実施する。

③調査日；平成24年1月6日(金)発送、1月20日(金)投函締切

2. 調査事項（調査票(案)は資料4-2）

①回答世帯の属性

居住地（地区・町会）、世帯員数、車の所有台数

②回答者の属性

性別・年齢・職業・自由に使える交通手段、徒歩による移動可能距離

③日常の移動内容について（移動目的ごとに以下の内容を把握）

移動頻度、移動目的地、到着しなければならぬ時刻・目的地出発事項、移動手段等

④公共交通に対する意識・あり方について

公共交通の利用状況、公共交通への転換・維持に対する考え方など

⑤辰野総合病院の移転について（世帯主のみ）

利用状況（頻度）、移動手段、移転後の利用・移動手段

3. 調査スケジュール

| 作業項目 | 12月 | | | 1月 | | | 2月 | | |
|----------------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 | 上旬 | 中旬 | 下旬 |
| ①調査企画 | | | | | | | | | |
| 調査設計 | | | | | | | | | |
| サンプリング設計 | | | | | | | | | |
| 調査票設計 | | | | | | | | | |
| 調査票印刷 | | | | | | | | | |
| ②実査 | | | | | | | | | |
| 調査票配布・回収 | | | | | | | | | |
| 集計・データクリーニング | | | | | | | | | |
| ③分析 | | | | | | | | | |
| OD（起終点）分析 | | | | | | | | | |
| 利用者数等に関する分析 | | | | | | | | | |
| 利用促進に関する分析 | | | | | | | | | |
| ⑤交通会議日程 | | | | | | | | | |
| 交通会議 | | ● | | | | ● | | ● | |

移動と公共交通に関するアンケート

アンケートご協力をお願い

公共交通は、高齢者や高校生など自らの移動手段を持たない人たちにとって、欠くことのできない「生活の足」といえます。しかし、近年の自家用自動車への依存や中山間地域の人口減少などを背景として、公共交通の利用者は年々減少する傾向にあります。

辰野町ではこのような状況の中、より効率的な公共交通網をより上げるために、町内にお住まいの高校生以上の方を対象に「移動と公共交通に関するアンケート」を実施させていただきます。

このアンケートでは、住民のみなさまの日常生活における移動の実態や公共交通の利用状況、公共交通に対するご意見等をお聞きします。調査結果は、より効率的で町民の皆さんにとって利用しやすい公共交通システムを検討する上での材料として活用いたします。

アンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

また、このアンケートがご家族で公共交通について話題としていただく機会となれば幸いです。

平成24年1月

辰野町地域公共交通会議
会長 矢ヶ崎 克彦

本アンケートは高校生以上の方を対象に4名までお答えになれます。

高校生以上の方が5名以上お住まいのご家庭は、運転免許をお持ちでない方や交通に不便を感じていらっしゃる方を優先してご回答ください。

本調査では、みなさまの移動の出発地点を把握するために、お住まいの地区ごとにアンケートの配布を行っております。

ただし、アンケートは無記名で実施し、ご回答データは個別に取り上げることはなく、全体をまとめて統計的に処理するため、個人情報等が漏れることは一切ございません。安心してご回答ください。

【I】あなたの世帯について



「問1」は、世帯代表者の方がお答えください。

以下の各設問にお答えいただき、右ページの回答用紙にご記入ください。

問1. お住まいの町会・世帯員数・日ごろ車を運転する方の人数・車の保有台数をお答えください。
(世帯代表者の方がご回答ください)

記入例に従い、ご自宅の地区、同居しているご家族の人数、車の保有台数をお書きください。

※以下の設問は、高校生以上の同居家族の方、それぞれ別々にお答えください。

問2. あなたの性別を回答欄に記入してください。

- ①男性 ②女性

問3. あなたの年代を回答欄に記入してください。

- ①10代(高校生以上) ②20代 ③30代 ④40代
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

問4. あなたの就学/就業状況について当てはまるものを1つだけ選び、回答欄に記入してください。

- ①高校生 ②学生(高校生以外) ③勤め人 ④自営業(農林業含む)
⑤専業主婦・主夫 ⑥パート・アルバイト ⑦無職 ⑧その他()

問5. 公共交通(タクシー含む)以外に、現時点でいつでも自分の自由なときに使える交通手段を全て回答欄に番号を記入してください。(複数回答可)

- ①自家用車(自分の運転) ②自家用車(家族の運転) ③原付/バイク
④自転車 ⑤その他() ⑥なし

問6. 普段自家用車を運転している方にお聞きします。自家用車の運転を今後も、続けたいですか？当てはまるものを1つだけ選び、回答欄に記入してください。

- ①近い将来(ここ5年以内くらい)には、運転をやめたい
②当面、運転を続けるが、将来的には運転をやめたい
③ずっと自家用車の運転を続けたい

問7. 日常生活における移動(通勤や通学、通院など)において、歩いてよいと思うおおよその距離(片道)を、記入例に従い回答欄に記入してください。

 メートル

【記入例】 片道「800メートルほど」とする場合 「800」と回答欄に記入

※「700～800」など範囲のある表記でなく、「800」のように数値を記入してください。

【Ⅱ】 平日（日常生活）の移動について

問8. 通勤・通学における移動についてお聞きします。

8-1. あなたは日常的にお勤めや学校に通われていますか。

- ① 日常的に通勤または通学をしている ② していない



①とお答えになった方は詳しい移動の実態をお聞かせください。

| | | |
|-----|--|--|
| 8-2 | 通勤・通学先 | 別紙のリストからもっともよく行く勤務地や学校を1つだけ選び、回答欄に記入してください。町内でリストにない場合は目的地の住所をお書きください。 |
| 8-3 | 通常利用する交通手段 <small>目的に移動する際に通常利用する交通手段をすべてお答えください。</small> | ①自家用車 ②原付/バイク ③家族の送迎 ④JR中央線 ⑤JR飯田線 ⑥町営バス川島線 ⑦町営バス飯沼線 ⑧タクシー ⑨施設送迎 ⑩徒歩のみ/自転車のみ/電動三輪車のみ ⑪その他() |
| 8-4 | 頻度 | ①週5回以上 ②週3～4回 ③週1～2回 ④月2～3回程度 ⑤月1回以下 ⑥定期的に行っていない |
| 8-5 | 到着時刻 | 勤め先や学校に「到着したい時刻」と、帰宅のためそこを「出発したい時刻」をご記入ください。 |
| 8-6 | 出発時刻 | |

問9. 通院についてお伺いします。

9-1. あなたは定期的に病院に通われていますか。

- ① 定期的に通院をしている ② 定期的には通っていない



①とお答えになった方は詳しい移動の実態をお聞かせください。

| | | |
|-----|--|--|
| 9-2 | 通院先 | 定期的に通院されている病院のうち、もっともよく行く病院を別紙のリストから1つだけ選び、回答欄に記入してください。町内でリストにない場合は目的地の住所をお書きください。 |
| 9-3 | 通常利用する交通手段 <small>目的に移動する際に通常利用する交通手段をすべてお答えください。</small> | ①自家用車 ②原付/バイク ③家族の送迎 ④JR中央線 ⑤JR飯田線 ⑥町営バス川島線 ⑦町営バス飯沼線 ⑧タクシー ⑨施設送迎 ⑩徒歩のみ/自転車のみ/電動三輪車のみ ⑪その他() |
| 9-4 | 頻度 | ①週5回以上 ②週3～4回 ③週1～2回 ④月2～3回程度 ⑤月1回以下 ⑥定期的に行っていない |
| 9-5 | 到着時刻 | 病院に「到着したい時刻」と、帰宅のためそこを「出発したい時刻」をご記入ください。 |
| 9-6 | 出発時刻 | |

| 通勤・通学 | | 記入例 | 代表者 | 回答者2 | 回答者3 | 回答者4 | |
|--------|-----|-----------------|-------|-------------------|------|------|---|
| 問 8 | 8-1 | 通勤・通学をするか | ① | ※最も当てはまるものを一つだけ回答 | | | |
| | 8-2 | 目的地 | 124 | ※リスト番号もしくは住所を記入 | | | |
| | 8-3 | 交通手段 (複数回答可) | ① | | | | |
| | 8-4 | 頻度 | ① | ※最も当てはまるものを一つだけ回答 | | | |
| | 8-5 | 目的地に着きたい時刻 | 8:30 | : | : | : | : |
| | 8-6 | 目的地を出発したい時刻 | 19:00 | : | : | : | : |

| 通院 | | 記入例 | 代表者 | 回答者2 | 回答者3 | 回答者4 | |
|--------|-----|-----------------|-------|-------------------|------|------|---|
| 問 9 | 9-1 | 通院をするか | ① | ※最も当てはまるものを一つだけ回答 | | | |
| | 9-2 | 目的地 | 124 | ※リスト番号もしくは住所を記入 | | | |
| | 9-3 | 交通手段 (複数回答可) | ① | | | | |
| | 9-4 | 頻度 | ① | ※最も当てはまるものを一つだけ回答 | | | |
| | 9-5 | 目的地に着きたい時刻 | 8:30 | : | : | : | : |
| | 9-6 | 目的地を出発したい時刻 | 11:00 | : | : | : | : |

【Ⅱ】 平日（日常生活）の移動について

問10. 買物についてお伺いします。

10-1. あなたは生鮮食料品や日用品など生活必需品の買物に、定期的に行きますか。

- ① 定期的に買物に行く ② 行かない



①とお答えになった方は詳しい移動の実態をお聞かせください。

| | | |
|------|---|---|
| 10-2 | 移動先 | 定期的に行くお店のうち、もっともよく行くお店を別紙のリストから1つだけ選び、回答欄に記入してください。リストにない場合は目的地の住所をお書きください。 |
| 10-3 | 通常利用する 交通手段 【目的に移動する際に通常利用する交通手段をすべてお答えください。】 | ①自家用車 ②原付/バイク ③家族の送迎 ④JR中央線 ⑤JR飯田線 ⑥町営バス川島線 ⑦町営バス飯沼線 ⑧タクシー ⑨施設送迎 ⑩徒歩のみ/自転車のみ/電動三輪車のみ ⑪その他() |
| 10-4 | 頻度 | ①週5回以上 ②週3～4回 ③週1～2回 ④月2～3回程度 ⑤月1回以下 ⑥定期的に行っていない |
| 10-5 | 到着時刻 | お店に「到着したい時刻」と、帰宅のためそこを「出発したい時刻」をご記入ください。 |
| 10-6 | 出発時刻 | |

問11. その他、定期的な移動についてお伺いします。

11-1. 通勤・通学、通院、買物以外に定期的に行っている移動はありますか。

- ① ある ② ない



①とお答えになった方は詳しい移動の実態をお聞かせください。

| | | |
|------|---|---|
| 11-2 | 移動の目的 | 回答欄に具体的にお書きください。例：福祉施設への通所など |
| 11-3 | 移動先 | 別紙のリストから目的地の場所の地図番号を1つだけ選び、回答欄に記入してください。または住所をお書きください。 |
| 11-4 | 通常利用する 交通手段 目的に移動する際に通常利用する交通手段をすべてお答えください。 | ①自家用車 ②原付/バイク ③家族の送迎 ④JR中央線 ⑤JR飯田線 ⑥町営バス川島線 ⑦町営バス飯沼線 ⑧タクシー ⑨施設送迎 ⑩徒歩のみ/自転車のみ/電動三輪車のみ ⑪その他() |
| 11-5 | 頻度 | ①週5回以上 ②週3～4回 ③週1～2回 ④月2～3回程度 ⑤月1回以下 ⑥定期的に行っていない |
| 11-6 | 到着時刻 | そこに「到着したい時刻」と、帰宅のためそこを「出発したい時刻」をご記入ください。 |
| 11-7 | 出発時刻 | |

問12. お答えいただいた①通勤・通学②通院③買物④その他の移動をあなたにとって重要な順番に並べてください。(例えば、通院がない方は、通院以外の3つの移動を並べてください。)

- ①通勤・通学 ②通院 ③買物 ④その他

| 買物 | | 記入例 | 代表者 | 回答者2 | 回答者3 | 回答者4 |
|------------------|----------------------|-----|-------------------|-------------------|------|------|
| 問 10 | 10-1 買物をするか | ① | | | | |
| | | | | ※最も当てはまるものを一つだけ回答 | | |
| | 10-2 目的地 | 124 | | | | |
| | | | | ※リスト番号もしくは住所を記入 | | |
| | 10-3 交通手段 (複数回答可) | ① | | | | |
| | 10-4 頻度 | ① | | | | |
| | | | ※最も当てはまるものを一つだけ回答 | | | |
| 10-5 目的地に着きたい時刻 | 10:30 | : | : | : | | |
| | | | ※24時間形式で記入 | | | |
| 10-6 目的地を出発したい時刻 | 11:30 | : | : | : | | |
| | | | ※24時間形式で記入 | | | |

| その他 | | 記入例 | 代表者 | 回答者2 | 回答者3 | 回答者4 |
|------------------|----------------------|----------|-------------------|--------------|------|------|
| 問 11 | 11-1 その他に重要な移動があるか | ① | | | | |
| | 11-2 移動目的 | 福祉施設への通所 | | | | |
| | | | | ※具体的にお書きください | | |
| | 11-3 目的地 | 214 | | | | |
| | | | | ※リスト番号を記入 | | |
| | 11-4 交通手段 (複数回答可) | ① | | | | |
| | 11-5 頻度 | ④ | | | | |
| | | | ※最も当てはまるものを一つだけ回答 | | | |
| 11-6 目的地に着きたい時刻 | 9:00 | : | : | : | | |
| | | | ※24時間形式で記入 | | | |
| 11-7 目的地を出発したい時刻 | 11:30 | : | : | : | | |
| | | | ※24時間形式で記入 | | | |

| | | 記入例 | 回答者1 | 回答者2 | 回答者3 | 回答者4 |
|---------|-----------|-----|------|------|------|------|
| 問 12 | 移動の重要さの順位 | 1位 | ② | | | |
| | | 2位 | ① | | | |
| | | 3位 | ③ | | | |
| | | 4位 | なし | | | |

【Ⅲ】公共交通に対する意識（1 / 2）

問13. 公共交通の利用状況についてお伺いします。

13-1. JR飯田線及び中央線を最近1ヶ月間で利用したことがありますか。

- ①ほぼ毎日利用した ②週に2～3回利用した ③数回利用した ④利用していない

13-2. JR飯田線及び中央線についてお聞きします。JRはどこに行くのに利用することが多いですか。

- ①町内の移動に利用することが多い ②塩尻方面への移動に利用することが多い
③岡谷方面への移動に利用することが多い ④箕輪・伊那方面への移動に利用することが多い

13-3. 町営バス(飯沼線または川島線)を最近1ヶ月間で利用したことがありますか。

- ①ほぼ毎日利用した ②週に2～3回利用した ③数回利用した ④利用していない

問14. 公共交通(電車・バス)の利用と維持についてお聞きします。最も当てはまるものを1つだけ選び、回答欄に記入してください。

14-1. 問8～問11でお答えいただいた移動(①通勤・通学②通院③買物④その他)について、公共交通(電車・バス)を利用していない方にお聞きします。

これらの移動において公共交通を利用することは可能ですか？ ただし、1kmまでは歩ける距離とし、時間の融通が利かなくなることなどはやむを得ないものとします。

- ①公共交通の利用が可能な移動がある ②公共交通の利用が可能な移動はない

14-2. 前問で①「公共交通の利用が可能」とお答えになった方にお聞きします。

地域の公共交通を維持していくために、お答えになった移動方法を実際に使うことは現実的ですか？

- ①とても現実的である ②やや現実的である ③あまり現実的でない ④全く現実的でない

14-3. 町営バスの維持についてお聞きします。現在運行している町営バスが、利用者がとても少なく、維持が困難な状況である場合、バスの維持に関して、ご自身の考えに最も近いものを1つだけ選び、回答欄に記入してください。

- ①町営バスがなくなることも仕方がない
②行政が今以上に財政負担をし、維持すればよい
③運賃を値上げして利用者が運行費用を負担し、維持すればよい
④利用したい地域の自治会などが費用の一部を負担し、維持すればよい
⑤その他()

14-4. 辰野町内の公共交通(JR線+町営バス)は、現在、充足していると感じますか？

- ①十分足りている ②概ね足りている ③やや不足している ④非常に不足している
⑤どちらとも言えない

問15. 自家用車の運転についてお伺いします。現在、車を運転している方のみお答えください。

もし、あなたが自家用車を運転できなくなったとしたら、いまの公共交通機関の運行状況のなかでは、生活が成り立ちますか。

- ①生活が立ち行かない ②公共交通やタクシーを利用すれば生活できる
③公共交通は利用できないが、家族に送迎をしてもらって生活できる
④さほど不便にはならない ⑤わからない

問16. バスの運行方法についてお聞きします。

16-1. バスをより乗りやすくするために、どのような仕組みが効果的だと思いますか。
当てはまるもの全て回答欄に番号を記入してください。

- ①集落の中までの運行 ②デマンド方式(ページ下段参照)の導入 ③フリー乗降※
④待合施設の整備 ⑤電車との接続の円滑化 ⑥その他()

※フリー乗降:バス路線上の停留所以外でも乗降ができる仕組み

16-2. デマンドバス(ページ下段参照)についてお聞きします。

このような方式が導入されれば、公共交通への乗換えをしようと思いませんか？

- ①乗り換えようと思う ②乗り換えようとは思わない ③すでに公共交通を使っている
④分からない

16-3. デマンドバスは予約電話が必要ですが、電話をかけることに抵抗を感じますか？

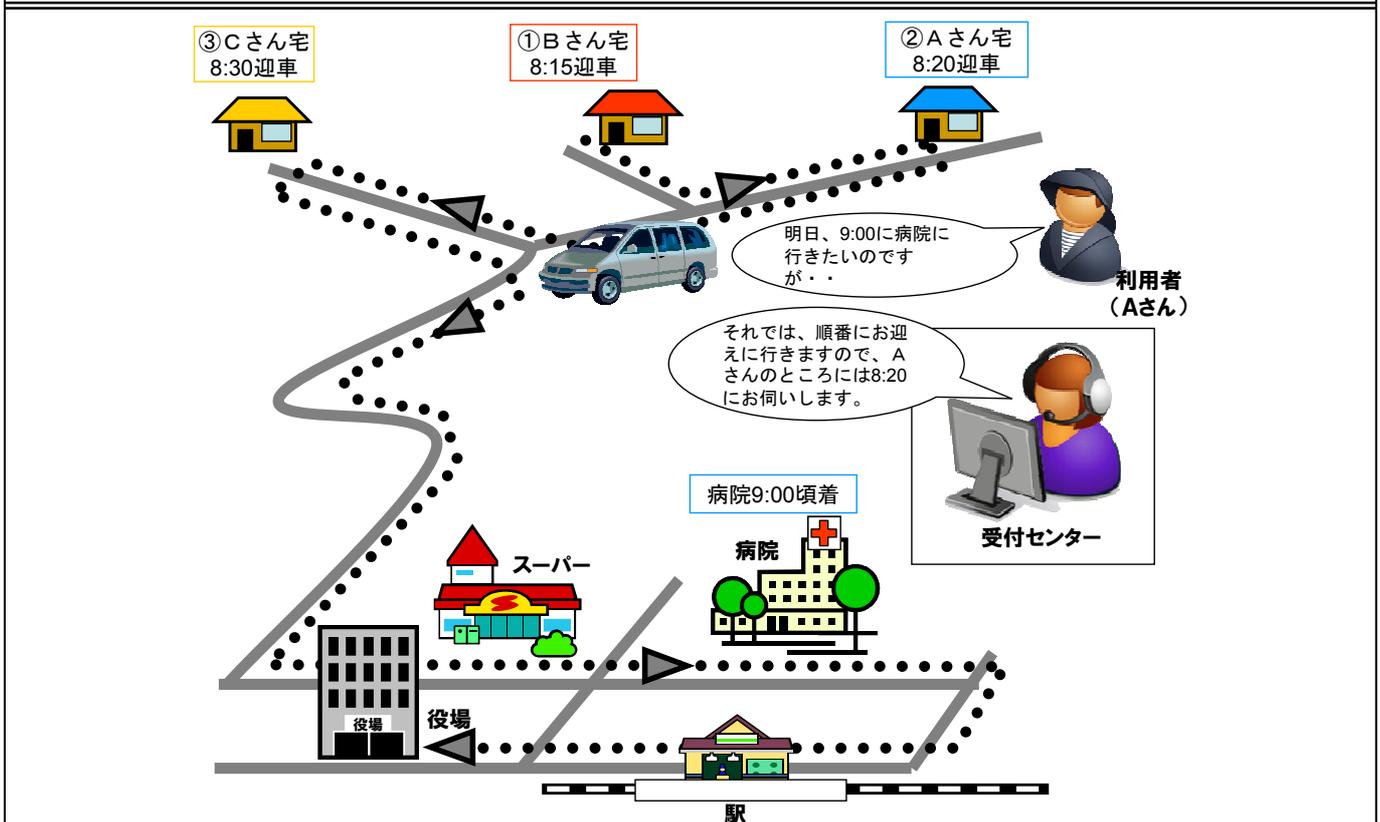
- ①とても感じる ②やや感じる ③あまり感じない ④全く感じない

問17. 公共交通のあり方について、ご自身のお考えを回答欄にご自由にお書きください。

■デマンドバスとは

(※以下に示したのは基本的なパターンであり、地域の特性に応じて具体的な運用の仕方は様々です)

- ・利用は事前の登録制で、登録者だけが利用できます。
- ・利用にあたっては、受付センターに電話で予約をします。
- ・予約運行なので、利用のないときは運行しません。(空のバスが走らないので効率的です)
- ・利用者のもとにだけバスが巡回し、利用者同士の相乗りで目的地まで送り届けます。
- ・外出先からの帰宅時の利用にあたっては、事前に予約をしておくことも、外出先から予約することもできます。
- ・車両は10人乗り程度のワゴン車を利用し、細い道にも入っていただけます。



以下は、世帯代表者の方がお答えください。このページは選択肢に直接○をつけてください

問18. 地域のバスがなくなった場合、家族の中でどなたが困ることになりますか？現在と5年先を考え、当てはまる番号全てに○をつけてください。(複数回答可)

- 現在・・・ ①自分が困る ②配偶者が困る ③親・祖父母が困る
④子ども・孫が困る ⑤その他()が困る ⑥誰も困らない
- 5年先・・・ ①自分が困る ②配偶者が困る ③親・祖父母が困る
④子ども・孫が困る ⑤その他()が困る ⑥誰も困らない

問19. 辰野総合病院の移転についてお伺いします。当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

19-1. 現在、世帯の中に、辰野総合病院に定期的に通院されている方はいらっしゃいますか。

- ①いる ②いない

19-2. 前問で「①いる」と回答した方にお伺いします。

通院されている方の主な交通手段を1つだけお答えください。

- ①自動車 ②原付/バイク ③家族の送迎 ④JR中央線 ⑤JR飯田線
⑥町営バス川島線 ⑦町営バス飯沼線 ⑧タクシー
⑨徒歩のみ/自転車のみ/電動三輪車のみ ⑩その他()

19-3. 辰野総合病院が移転することによって、ご家族の方の通院方法に変化が生じますか。最も当てはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- ①通いやすくなる ②通いにくくなる ③総合病院に通っていない ④わからない

19-4. 前問で「②通いにくくなる」とお答えになった方にお伺いします。

どのような影響が生じますか。当てはまるもの1つだけ○をつけてください。

- ①家から遠くなる ②バスで通えなくなる ③家族が送迎しにくくなる
④その他()

以上でアンケートは全て終了です。
長時間にわたり、ご協力ありがとうございました。

●アンケートの回収について

記入後の調査票は、同封の返信用封筒に入れていただき、
1月22日(日)までに、郵便ポストに投函してください



●アンケートへのお問い合わせについて

辰野町 まちづくり政策課 まちづくり係 担当 一ノ瀬・殿内

TEL: 0266-41-1111

移動先一覧

このリストは、「問8～11」の移動先施設を選択する際に使用してください。
 移動先施設を以下から選択し、あてはまる番号を回答欄に記入してください。移動先施設が一覧にない場合は、その具体的な施設名と住所を記入してください。

回答例：辰野町役場に行く場合 ⇒回答：5
 (一覧にない) 辰野警察署に行く場合 ⇒回答：辰野警察 辰野町大字伊那富宮木東町2851
 ※リストにない場合は必ず具体名を記入してください。 ×「接骨院」 ○「鈴木接骨院」

町外に出かける方はこちらから



| 方面 | 番号 |
|----------|----|
| 岡谷・諏訪 方面 | 1 |
| 伊那 方面 | 2 |
| 松本・塩尻 方面 | 3 |
| その他 | 4 |

町内に出かける方はこちらから



A. 公的機関等

| 名称 | 番号 |
|-----------|----|
| 辰野町役場 | 5 |
| 辰野町役場小野支所 | 6 |
| 辰野町役場川島支所 | 7 |
| | 8 |
| | 9 |



C. 学校・教育機関

※小中学校に関してはリストに含むか検討

| 名称 | 番号 |
|----------|----|
| 信州豊南短期大学 | 34 |
| 辰野高等学校 | 35 |
| | 36 |
| | 37 |



B. 医療機関・福祉施設

| 名称 | 番号 |
|-----------------------|----|
| 辰野総合病院 | 10 |
| 第一診療所 | 11 |
| 両小野国保診療所 | 12 |
| 川島診療所 | 13 |
| 伊藤外科医院 | 14 |
| 古村医院 | 15 |
| 上島医院 | 16 |
| 新田内科クリニック | 17 |
| 天龍堂医院 | 18 |
| 土屋医院 | 19 |
| 東野医院 | 20 |
| 特別養護老人ホームかたくりの里 | 21 |
| 辰野町ノ老人福祉センター | 22 |
| グレイスフル辰野 | 23 |
| ふらっと辰野特別養護老人ホーム | 24 |
| 介護老人保健施設のぞみ | 25 |
| 辰野町介護老人保健施設福寿苑 | 26 |
| グループホーム歩歩清風 | 27 |
| ぬくもりの里JA上伊那デイサービスセンター | 28 |
| 有料老人ホームゆりかご | 29 |
| 介護サービスステーション伊北 | 30 |
| | 31 |
| | 32 |
| | 33 |



D. 商店・スーパー

| 名称 | 番号 |
|------------------|----|
| たのめ生鮮食品館 | 38 |
| 三沢商店 | 39 |
| 臼田商店 | 40 |
| 伴野商店 | 41 |
| モンマートうえの | 42 |
| 丸栄辰野食品株式会社 | 43 |
| マルニスーパー | 44 |
| 吉田屋商店 | 45 |
| ニシザワショップパース辰野食彩館 | 46 |
| アップルランドデリシア辰野店 | 47 |
| 有限会社タナカストアー | 48 |
| たつの生鮮直売店 | 49 |
| | 50 |
| | 51 |



5. 温浴施設・体育施設・公園等

| 名称 | 番号 |
|-----------|----|
| たつのパークホテル | 52 |
| 湯にいくセンター | 53 |
| 荒神山 体育館 | 54 |
| かやぶきの館 | 55 |
| | 56 |